

# 3TG(紛争鉱物)対応に関する基本方針

文書番号 DW-20

発行日 2025年6月13日

作成 菅原 承認 横山

株式会社大東工業は、レアメタルの加工・販売を通じて、持続可能な社会の実現および企業としての社会的責任(CSR)の遂行を重要な経営課題と位置づけています。特に、錫(Tin)、タンタル(Tantalum)、タングステン(Tungsten)、金(Gold)(以下「3TG」)を含む紛争鉱物の取扱いについては、当社のサプライチェーンにおける最優先事項とし、人権侵害や環境破壊に加担しない責任ある鉱物調達の推進をここに宣言いたします。

## 1. 基本的な考え方

当社は、3TGを含むすべてのレアメタルの調達において、OECD「紛争地域および高リスク地域における責任ある鉱物調達のためのデューデリジェンス・ガイダンス」に準拠し、リスクの特定、評価、管理を行います。

紛争地域における武装勢力の資金源や人権侵害に関与する鉱物の使用排除を目指し、責任ある企業活動を継続してまいります。

## 2. 調達方針紛争鉱物不使用の原則

当社は、3TGが武装勢力の資金源となるような形で調達されること、またはそれに関与することを一切容認しません。

### ● サプライヤーへの要請

主要仕入先である日本・中国・アメリカを含むすべてのサプライヤーに対し、責任ある鉱物調達方針を明確に伝達し、3TGの原産国および製錬所の情報開示を求めます。

### ● デューデリジェンスの実施

合理的な範囲において、サプライチェーンにおける3TGの調達状況に関する調査(デューデリジェンス)を実施し、高リスク地域からの調達については特に厳格な審査を行います。リスクが判明した場合は、適切な是正措置を講じます。

### ● 透明性の確保

本方針およびその実施状況については、ステークホルダーに対して適切な情報開示を行うよう努めます。

---

### 3. 今後の取り組み

大東工業は今後も継続的にサプライチェーンの透明性を高めるとともに、3TGに関するデューデリジェンスの精度を向上させてまいります。特に、中国およびアメリカからの調達に関してはリスク評価体制を強化し、責任ある鉱物調達の実現に向けて企業としての責任を果たしていきます。

なお、本方針は定期的に見直しを行い、必要に応じて改定いたします。